

令和4年9月13日
鉄道局技術企画課

「鉄道における自動運転技術検討会のとりまとめ」の公表について

～より一層の効率化・省力化を目指す自動運転の実現に向けて～

国土交通省では、踏切道がある等の一般的な路線を対象とした自動運転の導入について、人口減少等の影響を踏まえ、より一層の効率化・省力化を目指し、安全性や利便性の維持・向上を図るための自動運転の技術的要件のあり方を検討するため、学識経験者等による「鉄道における自動運転技術検討会」を開催してきました。

これまでの検討を踏まえ、同検討会のとりまとめを行いましたので公表いたします。

人口減少社会を迎え、鉄道分野においても、運転士や保守作業員等の確保、養成が困難となっており、特に地方鉄道においては、係員不足が深刻な問題となっています。

このような背景を踏まえ、踏切道がある等の一般的な路線を対象とした自動運転の導入について、平成30年12月から「鉄道における自動運転技術検討会」を開催し、より一層の効率化・省力化を目指し、安全性や利便性の維持・向上を図るための技術的要件のあり方の検討を行ってまいりました。

本検討では、従来の運転士が乗務する場合と同等以上の安全性を確保することを基本とし、自動運転の技術的要件の基本的考え方についてとりまとめを行いましたので、公表いたします。

〈主な内容〉

- ・ G○A2. 5、G○A3及びG○A4の自動化レベル[※]に応じた具備すべきシステムや乗務する係員等の役割の基本的考え方
- ・ 都市部の地下鉄や地方路線等の特性の異なる路線を自動化レベル・タイプ別に整理した場合のそれぞれの自動運転システム等の対応例

(詳細は以下のURLを参照ください。)

※ 本検討会においては、自動化レベルを以下のとおり整理

G○A2. 5 : 緊急停止操作、避難誘導等を行う運転免許を有しない係員が列車の前頭に乗務する形態の自動運転

G○A3 : 避難誘導等を行う運転免許を有しない係員が列車内に乗務する形態の自動運転

G○A4 : 係員が乗務しない形態の自動運転

引き続き、国土交通省としましては、自動運転の導入が円滑に進むよう技術的要件の基本的な考え方を踏まえた具体的なルールづくりを進めてまいります。

■ 「鉄道における自動運転技術検討会」の公表ページ：

https://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo_fr1_000058.html

連絡先：鉄道局技術企画課 磯本、中島、関根

電話：03-5253-8111 (内線40704、57865)

直通：03-5253-8546

FAX：03-5253-1634

アドレス：hqt-tetsudou-kiyun★gxb.mlit.go.jp (★は@に変えて下さい。)